

令和 7 年第 2 回大崎市議会定例会一般質問発言通告書

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
1	15	中鉢和三郎	1 過疎地の交通弱者対策について (1) 昨年 4 月、日本版ライドシェアが新たにスタートした。道路運送法第 78 条第 3 号に基づくものであり、3 号ライドシェアと呼ばれる自家用車活用事業である。これまでに数次のバージョンアップが行われ、様々な運用改善、緩和措置が取られてきている。 また、日本版ライドシェアとは別に、以前から認められていた交通空白地有償運送や福祉有償運送は、2 号ライドシェアもしくは自治体ライドシェアと呼ばれていたが、昨年 8 月からは公共ライドシェアの呼称に統一され、こちらも様々な運用改善がなされてきている。 人口減少や過疎の進行により公共交通の利用者が減少し、それに伴い公共交通の便数の減、事業の廃止等により公共交通の空白地域が拡大している。国は、そうしたエリアでのライドシェアによる公共交通サービスの維持を図るため、様々な支援を始めている。 本市においても、交通弱者の足の確保は重要な課題であり、ライドシェアの導入は喫緊の政策課題と考えるが、市長の所見を伺う 2 防犯インフラ整備について (1) 防犯インフラとはあまり聞きなれない言葉だが、犯罪抑止や被害軽減を目的として、地域や施設の安全性を高めるための設備や仕組みを指す。具体的には、防犯カメラ、防犯灯、非常通報装置、見守り活動のサポートツールなどが含まれる。 昨今、様々な手口の犯罪が増加しており、防犯インフラの充実が喫緊の課題となっている。実際に事件、事故が起こると、防犯カメラやドライブレコーダーの記録が重要な手がかりとなって早期解決に結びつく事例もあり、整備促進に取り組む自治体も増えてきている。特に、街路に面した防犯カメラは、防犯インフラとして価値が高く、町内会などの組織に対する設置補助制度による整備促進を行う例が増えている。本市においても同様の促進策が必要と考えるが、市長の所見を伺う 3 旧鳴子総合支所跡地の利活用策について (1) 本年度、解体工事が予定されている。解体後の跡地はどのように利活用されるのか。 これまでも何度か議論の場があった。そこでは様々な意見が出されたが、最終的な結論には至っていないと認識している。 跡地の利活用は、鳴子温泉の魅力アップにどう生かすかが重要な論点だと考える。その方策の一つとして、観光客を町歩きに誘い、町なかでの滞在時間を延ばすために活用することが考えられる。 その一例として、こけし館の分館的な展示、鳴子漆器

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
2	17	木村和彦	の展示、及び地熱や温泉の謎や温泉のお湯を地中からお風呂まで届ける仕組みの展示、並びに市内の農産品やお土産品を販売する常設マルシェが開けるスペースを確保し、2時間程度、家族でゆっくり滞在できる場所にすべきと考えるが、市長の所見を伺う 1 国道4号、108号古川東バイパスの進捗について (1) 108号古川東バイパス完成後の市街地渋滞緩和の見込み (2) 竹の花交差点以北の今後の進捗とアンケート調査の結果について (3) それぞれの期成同盟会での今後の対応と情報共有について 2 農業政策について (1) 米の価格について、市長はどのようなスタンスを取るのか (2) 主要作物で持続可能な取組と、関係団体との連携について (3) 従来どおりの作付と、直播では水管理に大きな隔りがある。耕作地の選定や水管理で問題はないのか 3 市内の文化施設について (1) 体育施設への道路案内は比較的されているが、大崎市民会館、岩出山スコーレハウス、田尻文化センターへの表示について (2) 図書館の多目的ホールは残響が大きすぎて、講演や会議の話が聞きづらい。残響を減らす工夫は (3) 大崎市民会館の駐車場の拡充は	
3	12	八木吉夫	1 結婚・子育て支援等について (1) 当市と仙台市との比較で、結婚、妊娠、出産での支援の在り方に差異があるので、同等にできないか所見を伺う 2 雨水冠水対策について (1) 江合地区、福浦地区の雨水冠水対策の進捗状況を伺う 3 再生可能エネルギー支援について (1) 再生可能エネルギー発電施設の整備推進について、支援策を伺う	
4	18	横山悦子	1 実情を捉えた子育て支援の充実について (1) 人口減少を止めるため、近年はどの自治体も急速に子育て支援の拡充が進んでいるが、本市の政策が見えない。特色を明確にするべきと思うが、その対策について伺う (2) 政府が掲げる子ども未来戦略方針では、2030年までが少子化トレンドを反転させるラストチャンスとあるが、2024年の日本の出生数は68.7万人、本市の取組状況について伺う	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
5	21	只野直悦	(3) 新たなサービスの提供として、子育て家庭のニーズの変化に応じた、休日保育など、新たな子育て支援サービスの実施について伺う (4) 保育所等におけるＩＣＴ化推進等事業についてどのように考えているのか (5) 保育所等の災害時対応ガイドラインはいつ頃完成するのか。また、各施設に周知できるのか伺う (6) 令和８年度から本格実施となる、こども誰でも通園制度の進捗状況について (7) 園児の健康診断、歯科検診の実施に向けた事業化の推進について伺う (8) 物価高騰に対する、本市の補助金の考えについて伺う (9) 夕方延長保育料及び早朝延長保育料の見直しの考えについて 2 視覚障がい者にとって住み良い街づくりについて (1) 視覚障がい者の移動をサポートする同行援護制度について (2) 移動支援事業の考えについて 3 大崎市民会館について (1) 大崎市民会館の維持管理について (2) 駐車場不足問題と管理者の役割について 4 大崎市民病院について (1) 入院患者の面会時間の延長について（15分の根拠） (2) 院内レストランの再開の考えについて 1 医療的ケア児の支援について (1) 第３期障がい児福祉計画における医療的ケア児支援について ア 本市の現在の取組状況と現場の声を踏まえ、市が重要と考える課題を伺う イ 動ける医療的ケア児の現状把握と課題をどう捉えているのか伺う ウ 計画の進捗度合いを示す具体的な指標や中間評価のようなものはあるのか伺う。また、支援策の周知や市民への説明はどのように行われたのか伺う エ 障がい児福祉計画に基づく医療的ケア児支援が進まない要因を、市としてどのように分析されているのか伺う (2) 県との役割分担の明確化と協議の状況について ア 県との役割分担や協議の現状、県への支援要請の内容と進捗について伺う (3) 地域の家族会との関係構築と意見聴取の実施状況について ア 家族会等との意見交換や対話の場の設置、運営状況について伺う 2 大崎市誕生 20 周年記念事業について (1) 令和 8 年 3 月には大崎市が誕生して 20 周年を迎えるが、20 周年記念事業として現時点においてどのような構

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
6	8	早坂 憂	想を考えているのか伺う 1 市役所職員の職場環境について (1) 昨今の物価高騰の影響で、宿泊施設の利用料も上がっている中、職員の出張費用についても影響が大きいと考えるが、現状どのような影響が出ているのか所見を伺う (2) 都内や関西圏では、現在大崎市の旅費規程で定められている金額では宿泊費を賄えないのではないかと推察するが、どのようなやりくりを行っているのか、所見を伺う (3) 業務として出張を行う際に、仮に出張費用が旅費規程で定められている金額を超える場合、職員が手出しをしなければならないようなことはあってはならないものであり、これまでもそのような例はなかったと考えるが、これらのことを踏まえてどのような議論がされてきたのかを伺う 2 冠水対策について (1) 5月31日の雨で、市内各地で冠水が起こったと認識しているが、改めて当日の冠水状況と降雨に対する所見を伺う (2) 大江川周辺では事前に自家用車を近くに移動させ、冠水に備える家庭も多かった。一方で、育児に追われ、車を移動させることができないまま自宅で孤立し、不安の中で過ごした家庭もあった。スーパーの駐車場は車であふれ、買い物客が駐車できずに帰った例も複数あったと聞くが、常襲冠水地区周辺店舗との連携状況と、車両避難の周知啓発方法について所見を伺う (3) 今回の冠水で「雨が降るたびにおびえる生活をいつまで続けなければならないのか」「大江川はいつになったら改善されるのか」といった声が改めて多く寄せられた。市・県ともに様々な対策が進められているものの、その進捗状況が市民に届いていない現実がある。今後の周知啓発について改めて所見を伺う 3 東京都品川区大崎との交流について (1) 5月31日と6月1日の2日間で、市内民間団体が品川区大崎の住民と農業体験等を通して交流を行った。大崎という地名をきっかけに、関係人口の増加等を目的とした企画であり、当日は大いに盛り上がった。今後は民間交流だけではなく、大崎市として、品川区大崎との交流を積極的に進めていくべきと考えるが、所見を伺う (2) 毎年10月の連休に品川区の大崎駅前で、しながわ夢さん橋というイベントが開催される。市内民間団体は35年以上現地で出店し、これまで多くの交流を行ってきた。大崎市としてこのイベントに出店し、大崎市のPRと関係人口増加を目指すべきと考えるが、所見を伺う (3) このようなイベントに大崎市から参加する際、現地に住んでいる大崎市ゆかりの方々に関わっていただくことも重要と考える。例えば宮城県人会の大崎市出身者や市内各高校出身者等に周知し、お客様として来ていただくだけでなく、協力者として関わっていただくことも、	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
7	3	小玉仁志	つながりを深くするために有効な手法と考えるが、所見を伺う 1 第2次大崎市産業振興計画について (1) 本計画を基にした具体的な地域産業の将来像について (2) 重点施策，分野の具体的な位置づけ（業種や地域資源）並びに実行の可能性について (3) 計画実現のための現場の声と連携状況について (4) 地域事業における人材不足の状況把握及び考え方について 2 がん教育，がん対策に関連する施策について (1) がん検診の受診率及び受診者の傾向について (2) がん教育のスキームと実施状況について (3) 宮城県がん対策推進条例との連携状況について
8	27	鎌内つぎ子	1 市長の政治姿勢について (1) 市独自の子育て支援策として，学校給食費の負担軽減について 2 社会福祉法人が経営する保育園建て替え支援について (1) 老朽化した保育園の建て替えに対する市の支援について 3 廃校になった学校のエアコンの活用について (1) 特別教室へのエアコン設置について 4 小中学校の体育館へのエアコン設置について (1) 学校施設環境改善交付金や空調設備整備臨時特例交付金の活用について
9	6	法華榮喜	1 学校施設の防犯対策や避難計画について (1) 市内小中学校の防犯や不審者対策として，防犯カメラの設置計画について伺う (2) 通学路の見守り体制や防犯灯の整備状況は把握しているか，地域との連携は図られているのか伺う (3) 学校施設の災害時の非常食や防災用品などの備えはどうなっているのか伺う (4) 緊急時における警察や消防との連携マニュアルについて，教職員への周知や訓練の実施状況について伺う 2 サイクルツーリズムの推進について (1) 大崎市は鳴子温泉，田園風景，伊達家ゆかりの歴史，世界農業遺産「大崎耕土」など，多様な地域資源を有している。 これらを生かしたサイクルツーリズムの可能性について伺う (2) 県や周辺自治体（栗原市，登米市，加美町など）と広域連携した自転車による周遊観光の可能性について伺う (3) 現在，市内におけるサイクリングに適したルート整備状況や，レンタサイクル，サイクルステーション，駐輪場の設置状況について伺う

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
10	25	小沢和悦	3 松山ふるさと歴史館の在り方について (1) 現在の松山ふるさと歴史館の運営に係る職員体制と業務内容について伺う (2) 地域住民や学校教育機関との連携を通じて、松山ふるさと歴史館の活性化を図る取組はどのようなものがあるか。 今後、ふるさと歴史館を地域学習の拠点、観光資源としてどう活用していくのか、市の方針と展望を伺う (3) インターネット環境の整備は必要不可欠だと思うが、W i - F i 等の整備状況を伺う (4) 展示内容や施設の性格を考慮した場合、所管を松山公民館から文化財課に移管するべきと考えるが、その可能性について伺う 1 令和の米騒動の根源と誇りある農業の振興を掲げる大崎市の対応について (1) 市長は、誇りある農業の振興は人口減少に歯止めをかけ、内発型地域経済発展に欠かせないという認識をお持ちか (2) 令和の米騒動の根源と政府に実現を迫る食料、農業政策について (3) 離農を思いとどまっていただき、若者などの新規就農を大いに歓迎するメッセージを市長名で発することについて 2 納税貯蓄組合の今後について (1) 大崎市納税貯蓄組合奨励規則を廃止し、大崎市納税組合納付事務補助金交付要綱を制定した理由について (2) 納税貯蓄組合法による納税貯蓄組合で不都合なことはあるのか 3 ある公共事業について、発注しながら委託料を支払わないとして訴えられている問題について (1) 大崎市が補助参加人として争った訴訟の判決文との関係 (2) 契約書との関係で、大崎市は設計業者の請求権の時効消滅を主張できると思うか (3) 判決待ちでなく、市側の非を認め和解を申し出てはどうか	
11	4	山田匡身	1 教育行政について (1) 情報モラル教育の現状と方針について (2) プライバシーや心情に配慮した健康診断実施の環境整備について (3) 幼保小の連携強化と教育行政の果たすべき役割について 2 ネーミングライツ事業について (1) ネーミングライツ事業導入の評価と、現在の運用状況について 3 休眠預金について	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
12	24	木内知子	(1) 本市における休眠預金等活用制度の認識と休眠預金活用に関する団体への情報提供と支援の考えについて 4 空き家対策について (1) 空き家の実態と課題の認識について (2) 官民連携による空き家活用の促進策について 5 地域課題について (1) 鹿島台駅東東西線の完成に伴う安全対策の現状について 1 松山総合支所等複合施設構想白紙化決定後の公共施設対応方針について (1) 松山地域の公共施設改修の基本方針について (2) 地域民待望の松山公民館のバリアフリー化実現について 2 聴こえくつきり事業の推進について (1) 市民健診での聞き取りを始めるのではなかったのか (2) 山形市を参考にした関係機関との相談会について (3) 国の保険者機能強化推進交付金，介護保険保険者努力支援交付金の活用について 3 伝統芸能の保存，継承における，市の果たす役割について (1) 保存，継承は，個別の団体の努力では限界に来ている現状をいかに捉えているのか (2) 市の役割が今こそ求められるが，対応策について	
13	1	藤本勘寿	1 大崎市の収入拡大策について (1) 行政視察の有料化の検討 (2) 基金運用の高度化，個別株購入の可能性 2 市内公共施設で働く若手職員の業務負担軽減について (1) 受電時における自動録音機能の設定 (2) 業務時間外の受電時における自動音声対応の設定	
14	9	伊勢健一	1 小学校跡地の利活用について (1) 小学校跡地の利活用の現状について所見を伺う (2) 小学校跡地の利活用の今後の展開について所見を伺う (3) 跡地を活用している団体等との意見交換の現状と，地域課題に関する検討状況について所見を伺う 2 戦没者慰霊碑の現況について (1) 遺族の高齢化により，管理できない戦没者慰霊碑について全国的課題となっており，国の支援により撤去したり1か所に統合している自治体もあるが，本市の現況と今後の考え方について所見を伺う (2) 今年は昭和100年，前述したように，戦没者遺族は高齢化してきている。しかしながら，平和の尊さを後世に伝えることは重要なことである。戦没者慰霊祭の予定と今後の取組について所見を伺う 3 休日の部活動の地域移行について (1) 休日の部活動の地域移行の本年度の取組について所見	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
15	5	加川康子	を伺う 1 子育て支援分野におけるD X推進について (1) 子育て支援分野におけるD X推進の全体的な進捗状況はどうか (2) 保育申請に係る申請者、職員双方の手続きや案内の負担軽減に向けた取組として、C h a t b o tなどのデジタルツールを導入し、改善に取り組んではどうか 2 暮らしやすさを育む地域社会づくりとD & I 推進について (1) D & I (ダイバーシティ&インクルージョン) は、多様性を尊重し、誰もが自分らしく生きられる社会づくりを目指す考え方であり、大崎市の男女共同参画の理念とも通じている。こうした観点から、市のこれまでの取組の成果と課題について伺う (2) 産業振興計画に掲げている家庭と仕事の両立やM字カーブなどの解消、ワークライフバランスの普及啓発はD & I 推進につながると考えるが、魅力ある職場づくりについて、地域企業の具体的な取組状況を、市はどのように把握しているのか伺う (3) 子どもたちが自分の体を大切にする意識を育む命の教育、健康教育は、大崎市健康増進計画に掲げるライフコースアプローチに沿うものであり、子どもから青年期にかけてその取組をさらに強化してはどうか 3 教職員のw e l l - b e i n gを支える職場環境づくりについて (1) 大崎市立小・中・義務教育学校教職員の働き方改革に関する取組方針を踏まえ、今後、本市はどのように各学校の伴走支援に取り組む予定か (2) 外部人材を活用し、各学校における働き方改革の推進や業務改善、削減に向けた伴走支援が広がっているが、本市でも外部人材を活用して取り組んではどうか (3) 教職員の心理的安全性の高い職場風土づくりが必要と考えるが、本市の具体的な取組や支援策はどうか	
16	14	佐藤弘樹	1 空き家対策について (1) 空き家関連施策の成果、支援と解消の現況について (2) 移住定住支援に資する空き家活用について 2 教育行政について (1) A I P Cを活用した教育現場でのA I活用について (2) 小中学校における楽器更新について 3 職員人財育成について (1) 職員のメンタルヘルス不調による休職者数と対応状況について 4 障がい者・高齢者支援について (1) 障がい者就労支援事業所との連携状況について (2) 高齢者配食サービス事業の役割と現況について	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
17	20	遊佐辰雄	1 物価高騰対策について (1) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等の財源確保と合わせて、消費税減税を強く国に要請すべきではないか (2) 市民の実態を踏まえ、大崎市として物価高騰の可能な対策を実施すべきではないのか (3) 水道料金の減免について 2 鳴子幼稚園の解体及び旧鳴子総合支所跡地と旧鳴子小学校等の利活用について (1) 休園中の鳴子幼稚園を早急に解体し、跡地の有効活用を図るべきではないか (2) 旧鳴子総合支所は当初予算で解体されることになっているが、跡地の利用について (3) 旧鳴子小学校, 旧川渡小学校, 旧鬼首小学校の今後の利活用について	
18	7	石田政博	1 支所対応経費について (1) 市道の軽微な維持補修の対応窓口, 予算措置を伺う (2) 地域イベント支援の方向性について伺う (3) 優先順位の考えについて伺う 2 子ども・子育て支援について (1) 就学前乳幼児の5歳児健診が必要と考えるが, 市長の展望を伺う (2) 現状の健診の実施状況, 受診状況を伺う (3) 大崎市子育てわくわくランドや各子育て支援センターでの相談はないか伺う 3 景観づくり市民協定並びにおおさき景観まちづくり in かわたびについて (1) 市民協定に向けた支援体制について伺う (2) 岩出山内川周辺の維持保全についての考えを伺う (3) 川渡地区の取組内容, 取り組むきっかけについて伺う 4 安心安全な地域のための施策について (1) 今年度の施政方針では防災力の強化が提示されたが, 防犯の取組状況について伺う (2) 防犯カメラ設置補助に関する地域の要望への対応について伺う 5 学校の環境整備について (1) 設置遊具の更新計画について伺う 6 地域自治組織支援の検討の進捗について (1) 令和8年度の再スタートに向けた検討(自治組織, 区長業務)の進捗と来春に向け, 方向性を示す時期を伺う	
19	23	氏家善男	1 令和の米騒動について市の見解について (1) 需要に応じた米の生産について 米の在庫量が的確につかめていたのか。また, 需要量を見誤ったことにより今回の米不足, 価格高騰につながったことについて (2) 価格高騰の原因について 生産者価格は確かに上昇したが, 消費者が買う米の	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			価格は2倍以上になっている。流通の簡素化による中間マージンの削減が必要ではないか (3) 網目の問題について 昨年度の作況指数は107と豊作であった。農業共済が使用するふるい目幅は1.7ミリメートルであるが、生産者は1.9ミリメートルのふるい目幅で出荷している。この差が米不足になる一因ではないか (4) 毎年10万トン削減としてきた農政の誤りについて 人口減や高齢化により、需要量は前年比10万トンずつ減少するとしてきたが、近年インバウンドによる訪日客が増加し、米の需要も増している状況が加味されていないのではないか (5) 生産者価格の倍以上の消費者価格により米の輸入が急増している。主食用米の生産能力があるのにもかかわらず、このまま輸入が拡大していくと再び低米価となり、農業の衰退が懸念される。このような事態に最大の危機感を持つべきではないか 2 米不足、価格高騰対策について (1) 学校給食での対応について (2) 病院、保育所、福祉施設での対応について 3 休耕田復活への補助金について (1) 耕作放棄地や休耕田が多く発生してきた。米の価格が回復すると生産意欲も湧いてくるが、既に荒廃した農地の復活には重機の投入が必要である。その資金の一部助成は考えられないか 4 アメリカの関税引上げへの対応について (1) アメリカの貿易収支赤字から打ち出されたトランプ関税について、今、精力的な交渉が行なわれているが、特に自動車産業など大きな影響が出ると言われている。関税引上げ分を価格転嫁することは難しいと言われており、その分が中小企業の下請けや関連する企業に影響が及ぶとされている。それが今後地方に波及してくるということであり、本市でも何らかの対策が必要になってくると思うが、今後の対応を伺う
20	2	小嶋匡晴	1 鳴子温泉地域における廃校・園した学校施設等について (1) 今後の管理、解体計画について (2) 教育財産と普通財産の切り分けについて (3) 今春統合した旧鳴子小学校、旧川渡小学校、旧鬼首小学校の維持管理と利活用について 2 大崎市の里親制度の普及・啓発について (1) 本市の里親の現状と課題について (2) 本市の里親委託（ショートステイを含む）の現状と課題について (3) 里親の普及啓発の取組について
21	10	鹿野良太	1 地方創生2.0基本構想によって大崎市をプラチナタウンとすることについて (1) 第二の住民票「ふるさと住民」登録制度について

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			大崎市と関係人口の継続的な関係構築と信頼関係の醸成が必要だと考える。大崎市に来たくなる情報発信や特典を付与し、新たな本市のファン獲得や二地域居住も念頭に、ふるさと納税と連携するなどして、大崎ふるさと住民票を発行し関係人口の拡大を推進してはどうか伺う。 また、進学や就職などで市外に出る若者や、毎年数十名を数える日本語学校の卒業生と継続的な交流が必要だと思うが、市長の所見を伺う。 さらに、積極的な本市への来訪意欲や強い関心につながるような方策を考えているのか伺う (2) 全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」(日本版ＣＣＲＣ) 2.0の展開について 政府は地方創生交付金を活用し、老朽化した特別養護老人ホームや介護老人保険施設の建て替えや改修費、運営費を補助することで、単身の高齢者や高齢同士の夫婦、中高年の単身者などが地域共生や施設の業務などに従事してもらいながら生活する小規模シェアハウスを整備するとしている。本市でも未婚や子どもが都会に出たことによって、高齢者のみの世帯が増加しているが、長年養った知見や経験を生かしながら、生きがいを持って住み慣れた地域で老後を過ごしたいというニーズは多くあると思う。本市も今後さらに高齢世帯が増加する中、高齢者向け小規模シェアハウスの整備に積極的に取り組むべきだと考えるが、市長の所見を伺う (3) デジタル公共財の共同利用・共同調達について 社会課題の解決やイノベーションに有用で自由に使える医療、金融、教育、交通などのデータ、デジタル公共財について、国が事業者と一括契約して利活用のハードルを下げ、自治体に利用を促す方向で調整が続いている。本市でもデータ利活用はスキルの高度化もあり、一部の職員を除いて対応が難しい状況である。今後の国の方針も踏まえ、デジタル公共財の利活用を積極的に行うべきだと思うが、そのための職員リスキリングやデータを活用した政策立案、事業構築について本市の所見を伺う (4) 指定地域共同活動団体制度の推進について 高齢化等を背景とした地域における担い手不足に対応するため、令和6年の地方自治法一部改正により、指定地域共同活動団体制度が創設された。区域の住民または区域の住民を主たる構成員とする団体が対象となっており、老人会や子供会、婦人会など、地域の団体が単独で行ってきた事業が担い手不足のために継続的な活動が難しくなっている中で、地域社会の多様な主体が参画し連携、協働する枠組みを市町村が構築し、その活動を下支えする取組を促している。指定地域共同活動団体の必要性について市長の所見を伺う	

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項
			うとともに、制度開始に当たり条例が必要だと思うが、条例制定の準備は進んでいるのか伺う (5) 新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）のさらなる活用について デジタル田園都市国家構想交付金を発展させる形で新しい地方経済・生活環境創生交付金が国の6年度補正予算で創設された。従来のデジ田交付金ではコロナ禍の影響もあり、新たな生活様式における課題についてデジタルを用いて解決していくという方向性だったが、第2世代交付金ではデジタルを要件としないことや、事業ごとに申請が必要だったものが一括で申請できるようになったこと、当初予算では予算が倍増されるなど、自治体にとっては自由度の高い使い勝手のいい交付金となった。今時定例会補正予算でも、第2世代交付金の計上があったが、これまでのデジ田交付金から第2世代交付金まで本市の事業採択の少なさを感じる。本市の課題に対する職員のアイデアや議論を生かした形での事業の展開に期待をするとともに、今後さらなる交付金の活用を求めるが、各部課での議論の状況を伺う（各市長部局の取組について答弁を求める） 2 地方公務員の兼業・副業の弾力化について (1) 本年1月24日に召集した通常国会において石破首相の施政方針の中には、地方公務員の兼業と副業の弾力化が盛り込まれた。現在、総務省の分科会での議論が行われており、6月に自治体へ基準が明示されると報道がある。2017年の神戸市を皮切りに多くの自治体で副業が解禁されている。大阪府においては営利目的の副業も解禁されており、総務省の検討も踏まえた本市の兼業、副業の弾力化について所見を伺う (2) 本市での兼業許可の全件数を伺う。またその中で社会貢献のための兼業、副業は何件申請され、許可されているのか伺う
22	11	佐藤仁一郎	1 市の花・木・鳥を通じた市民一体感の醸成策の検証と活用策について (1) 選定されたひまわり、桜、マガンそれぞれが、市民生活と結びつき、市民に末永く愛され、親しまれるよう、周知啓発による認知と定着に取り組むとしていた。その取組状況を伺う (2) 市内各集落や学校、団体等でひまわりを育てていただき、コンクールなどを開催し、さらに認知度を広めてはどうか所見を伺う (3) 市内東北本線や陸羽東線の駅舎やその周辺でひまわりを栽培し、観光客やインバウンドの来客をもてなし、ひまわりの咲く町として歓迎してはどうか所見を伺う 2 三本木総合体育館の大規模改修計画や三本木中学校体育館の雨漏り対策の進捗状況について (1) 三本木総合体育館の大規模改修計画の進捗状況を伺う

発言 順	議席 番号	氏 名	発 言 事 項	
			(2) 三本木中学校体育館の雨漏り対策の進捗状況を伺う 3 小規模農地での土地改良事業に対する支援について (1) 本市において、耕作放棄地となった農地の推移状況を伺う (2) 営農が継続でき、耕作放棄地にならないようにするためにも、小規模農地での土地改良事業に対する補助率の拡充を図るべきと考えるが、所見を伺う	